事例No.	2669
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	街かど博物館館長連絡協議会

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・観光 ・地域運営組織

事例種類	関係人口

事例内容・タイトル

街かど博物館館長連絡協議会

出典

平成30年度ふるさとづくり大賞事例集

団体表彰

街かど博物館館長連絡協議会　神奈川県小田原市

観光振興・交流　産業振興

概　要

蒲鉾、干物、木工など、城下町・宿場町である小田原で栄えた地場産品を取り扱う老舗を「街かど博物館」として認定し、店主による説明や店内の一画を利用したパネル展示、製作体験を実施することなどにより、地域産業の魅力を発信し、後世に伝えている。

平成30年４月１日現在、20館ある街かど博物館は、日常のまち歩き観光における拠点の役割を担っており、年に５回程度、各博物館を巡るまち歩きツアーを開催するほか、ファンクラブ通信を発行するなどの取組を実施している。



【店主による説明】

評価された点

・城下町の地場産品を製造販売する老舗を「街かど博物館」として認定。店主による説明やパネル展示、製造体験などを通して、地場産業をPRし、地域内外の人々との交流を促進している。現在、街かど博物館は20館にのぼっており、学校教育、まち歩きツアーやファンクラブ通信など活動に発展している。地場産業の振興の範となる取り組みである。
・「街かど博物館」という構想はまさに「あるものさがし」の典型。様々な業種の事業者同士の連携によって、回遊性を高め、地域活性化につなげている。ファンクラブの３分の１は地元市民であり、市民とともに地場産業の振興を進めようとしている点も評価したい。
・地場産業、地域性を活用した「時計の針が止まらない」博物館活動として評価。



【製作体験】